

研究課題：

特発性側弯症手術における多職種カンファレンス開催の効果

1. 研究の目的

側弯症は、冠状面と矢状面に加え椎体の回旋を伴い三次元的に変形する疾患です。Cobb 角 10° 以上を側弯症と定義し、 45° 以上で手術適応となります。当センターでは 2018 年から側弯症に対する手術を始めました。この手術は、整形外科医、麻酔科医、手術室看護師、生理検査技師がチームとなって行っていますが、よりよい医療を提供するために多職種カンファレンスを開催しました。カンファレンスを機にそれぞれの役割を明確化し、チーム全体で各役割を把握できるようにしました。本研究の目的は、多職種カンファレンスを通してそれぞれの役割を理解し、明確化することで安全な手術提供に効果があるのか検討することです。

2. 研究の方法

2018 年 6 月 1 日から 2024 年 6 月 30 日までの間に当センターで特発性側弯症に対し後方矯正固定術が施行された患者様を診療録から後方視的研究を行います。

3. 研究期間

2024 年 7 月（倫理委員会で承認を得られた日）から 2026 年 7 月 31 日までとなります。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

多職種カンファレンスを行う前と後の二群間で、他職種カンファレンスの効果を周術期のインシデントレポートや年齢、性別、放射線画像データを含む診療録情報から検討します。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分らないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

実施責任者：手術室 師長 鈴木泰子

手術室 看護師 小池百花

手術室 看護師 千徳千景

整形外科 科長 平良勝章

整形外科 医長 町田真理

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2025年1月31日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）